

病理学各論を学ぶにあたって

# 1. 器官の特徴を理解する

1.機能: どのような働きをする器官か

2.解剖: どの場所に何があるか

正常のInput/outputを理解

3.生化学: 原因、結果を理解するのに必要

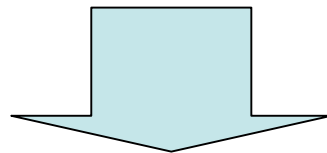
# 1. 器官の特徴を理解する

1.機能: どのような働きをする器官か

2.解剖: どの場所に何があるか

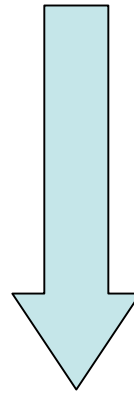
正常のInput/outputを理解

3.生化学:



器官に特徴的な病態を把握する

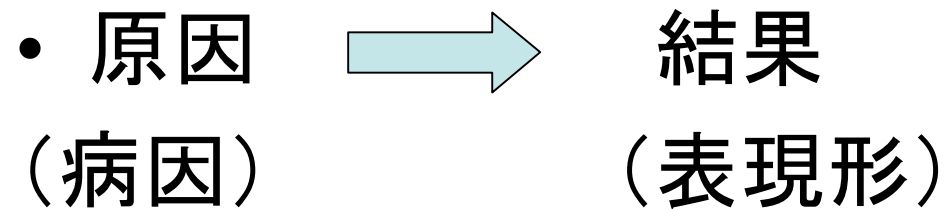
# ロビンス基礎病理学



- 細胞
  - 組織
  - 器官
- 総論
- 各論

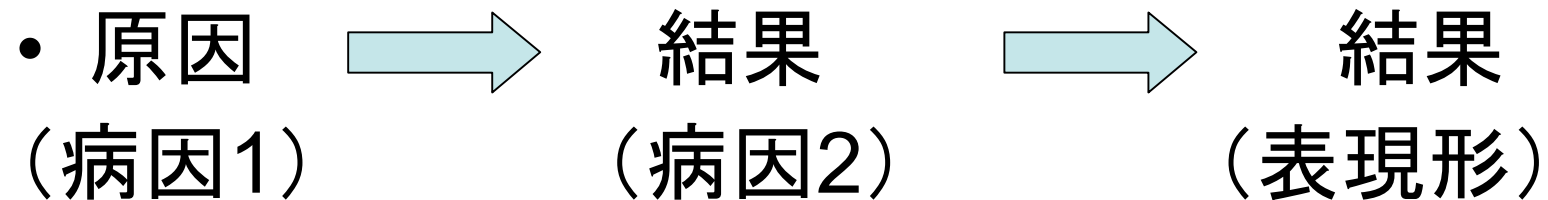


## 2: 病気の理解



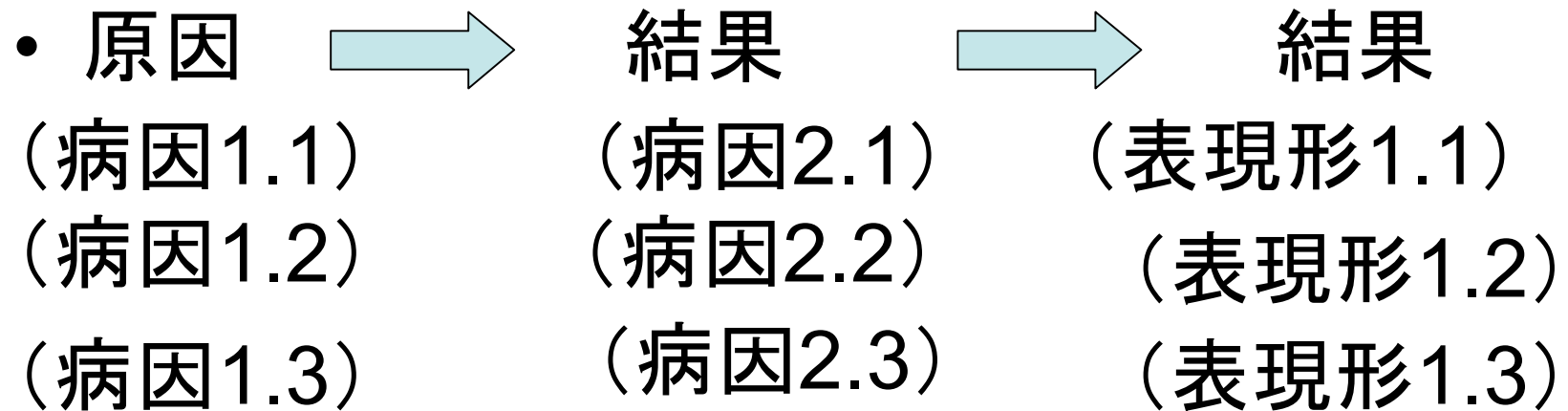
病気にはその原因とそれによる結果(表現形)がある

## 2: 病気の理解



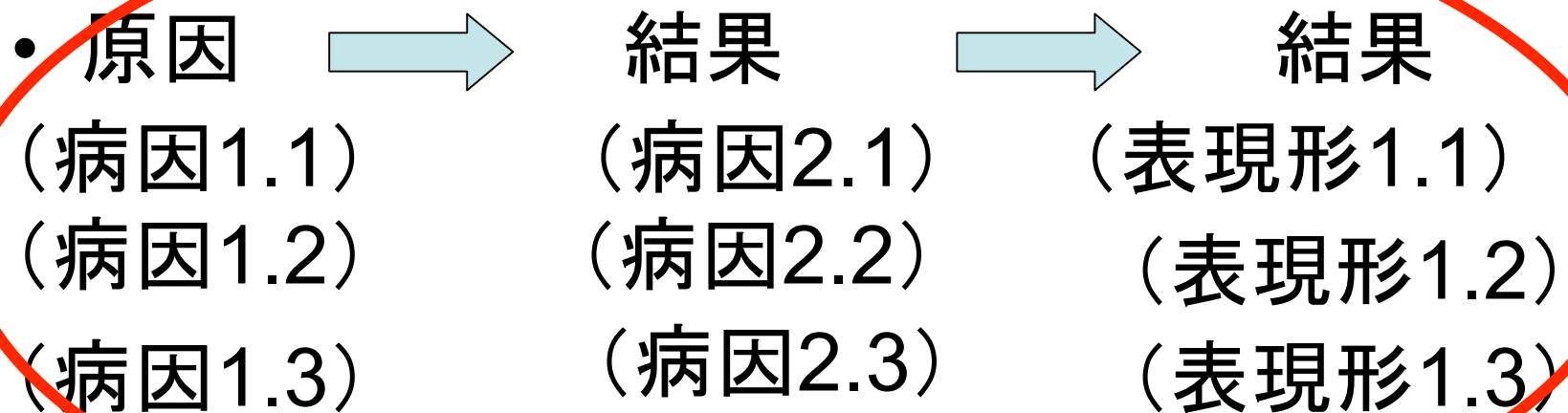
病気には一つの結果(表現形)が原因となり次の結果をもたらすことがある

## 2: 病気の理解



病因、結果も多数であることがある。

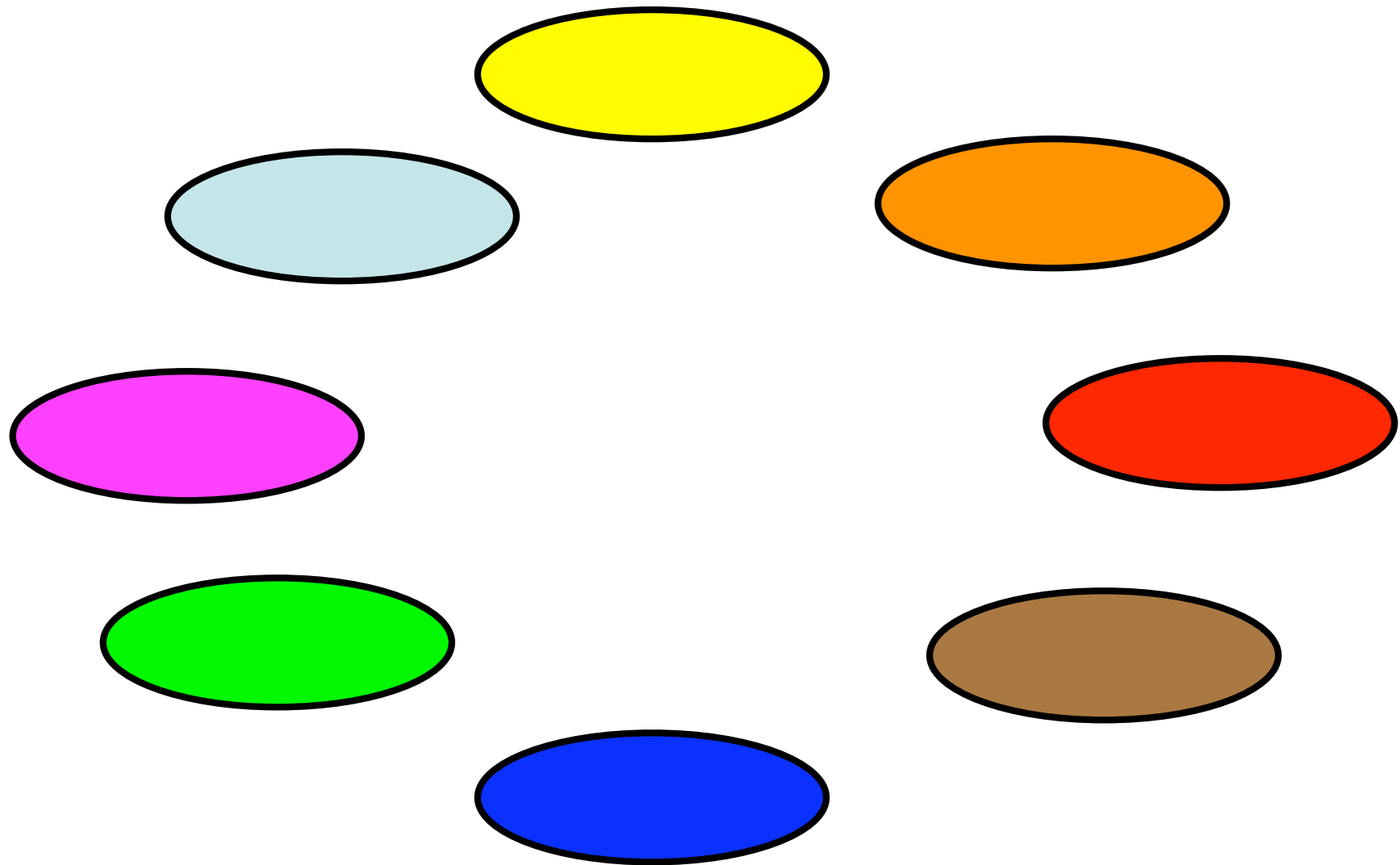
## 2: 病気の理解



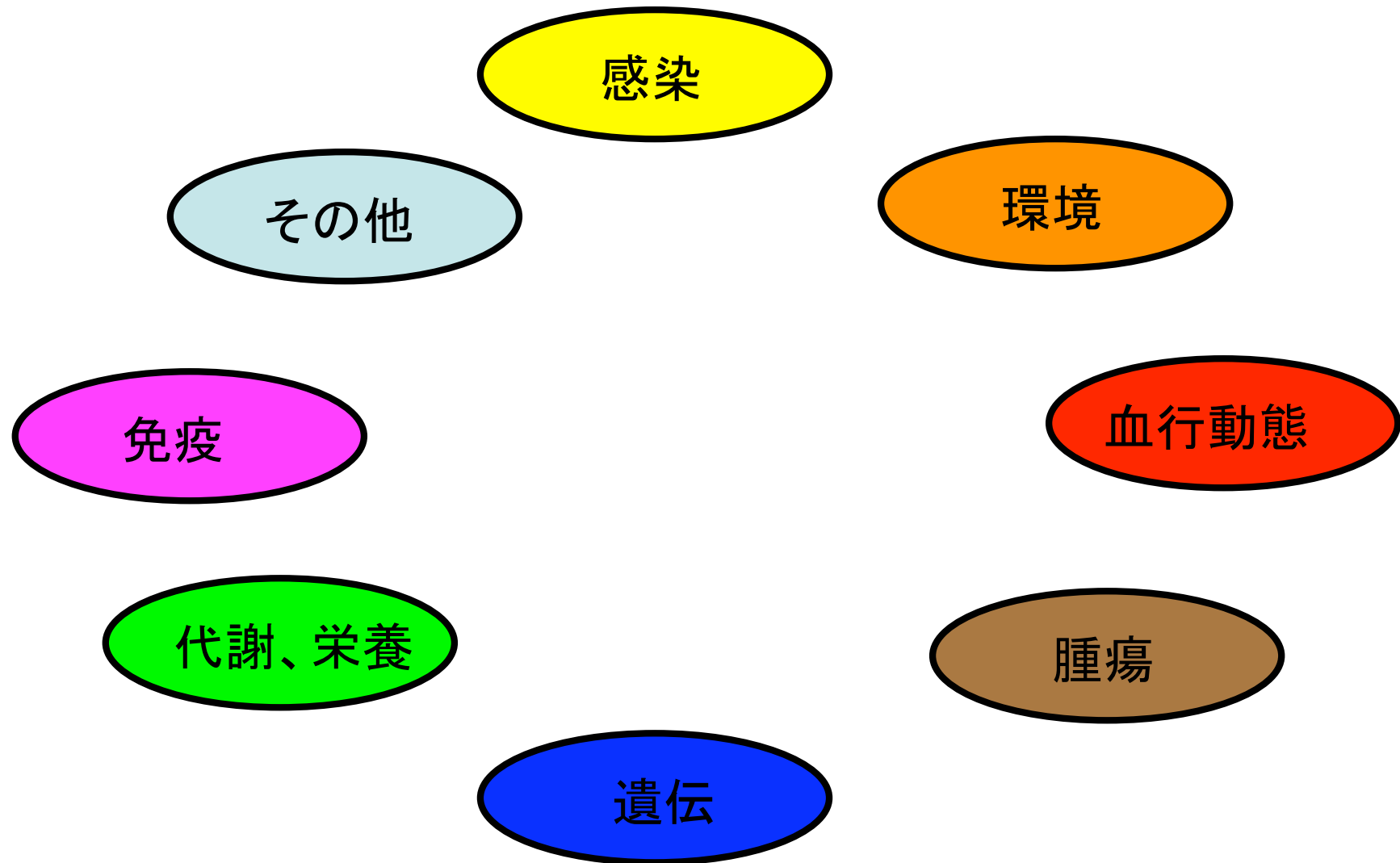
全体の因果関係を総合的に理解すること。



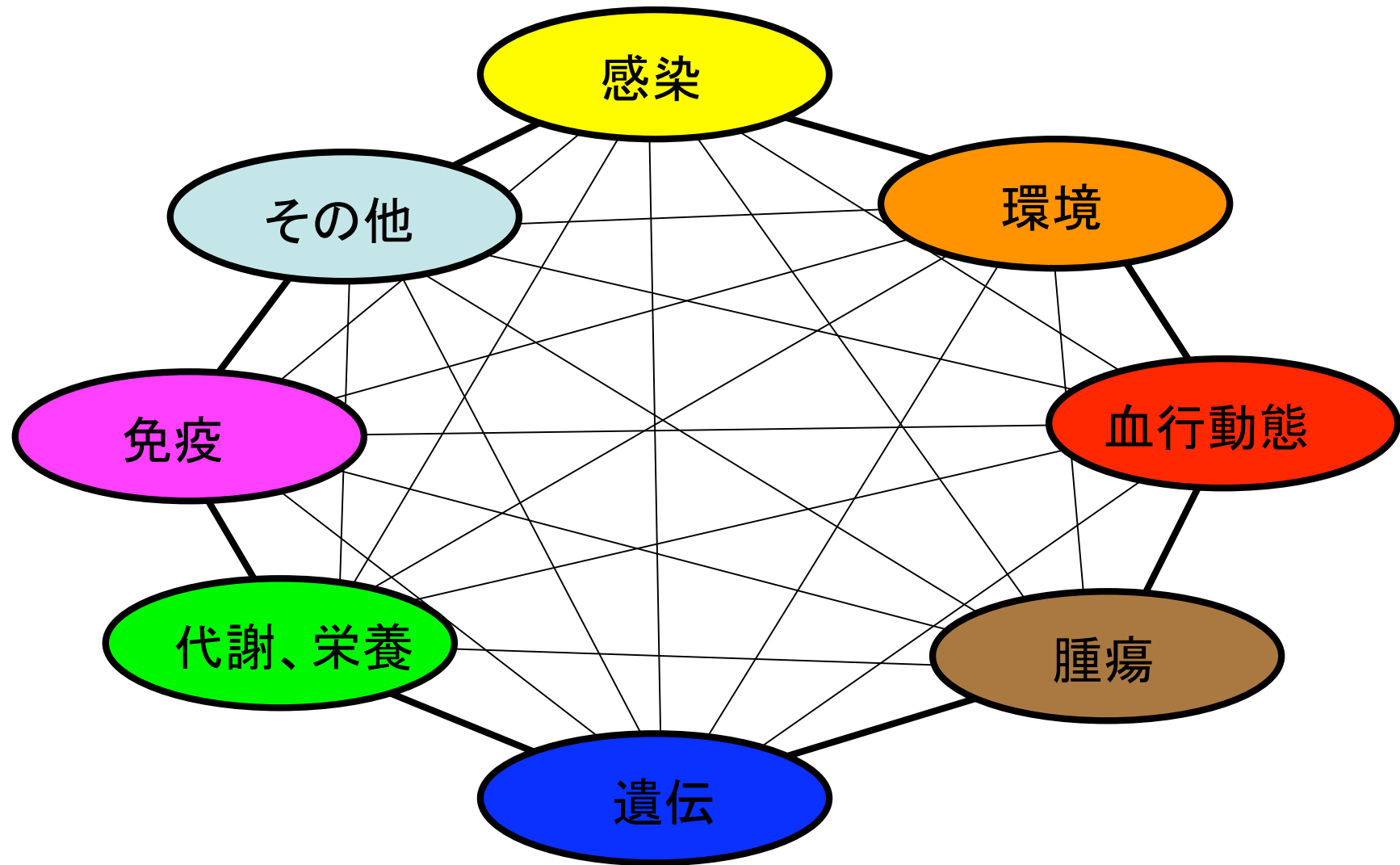
# 病因は8種類に分類



# 病因は8種類に分類

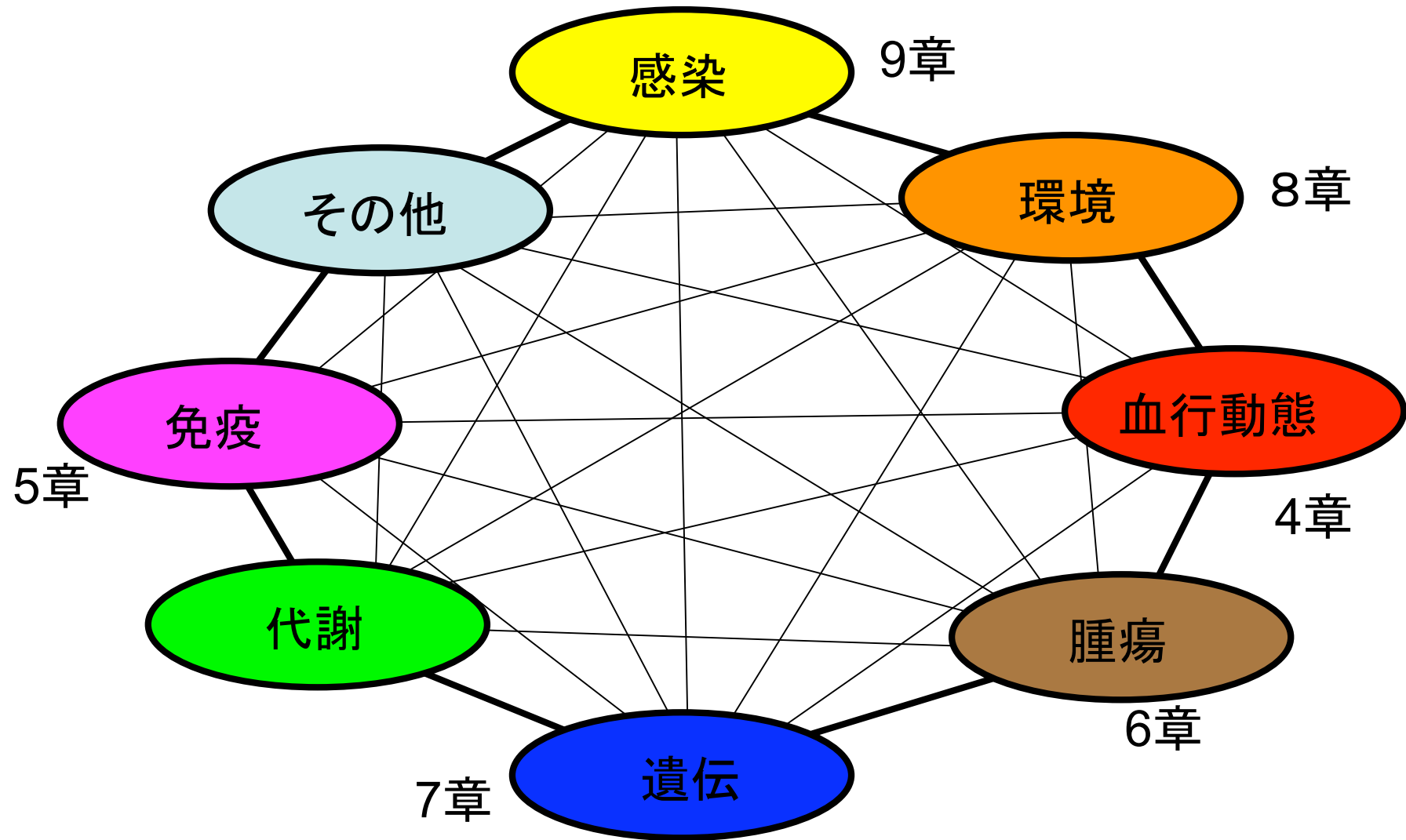


# 病因は8種類に分類



それぞれが、有機的に結びつく

# 病因は8種類に分類



それぞれが、有機的に結びつく

